



2010年電気化学会関東支部セミナー

『1日でわかるイオン液体と電気化学 -測定法から応用まで-』

日 時：2010年11月18日(木) 午前10時～午後5時40分

場 所：早稲田大学西早稲田キャンパス(旧大久保キャンパス)

55号館N棟1階大会議室(東京都新宿区大久保3-4-1)

イオン液体は、塩であるにも関わらず、溶媒を含むことなく液体状態を呈する、水とも有機溶媒とも異なる「第三の溶媒」といわれています。そのユニークな特性として、難燃性・難揮発性をはじめとして、高い電気化学特性なども有することより、幅広い応用分野が期待されています。また、陽イオン・陰イオンの無数の組み合わせにより、その特性が大きく変化することから、デザイン溶媒とも呼ばれています。まさにイオン液体研究は「創る」・「測る」・「活かす」の三位一体の研究分野であり、研究ポテンシャルとしても日本がトップランナーを走っており、更なる発展が期待されます。本研究会では、世界的に見ても著名なイオン液体研究分野の第一人者の先生方をお招きし、電気化学を橋架けとしたイオン液体研究の最先端についてご講演いただきます。

◎開会の辞(10:00～10:10)

1. イオン液体研究の現状及び今後の可能性

(10:10～11:10)

東京農工大学 大野 弘幸

2. イオン液体中での有機電解反応

(11:10～12:10)

東京工業大学 淵上 壽雄

◎昼食(12:10～13:15)

3. イオン液体の基礎物性と電気化学、その応用の可能性

(13:15～14:15)

横浜国立大学 渡邊 正義

4. イオン液体中における電気化学測定の実際

(14:15～15:15)

慶應義塾大学 片山 靖

◎休憩(15:15～15:30)

5. イオン液体と真空技術を組み合わせた分析法とナノ材料作製法の開発

(15:30～16:30)

大阪大学 桑畑 進

6. イオン液体電解液を用いた高容量リチウムイオン二次電池の設計

(16:30～17:30)

東京理科大学 駒場 慎一

◎閉会の辞(17:30～17:40)

【定 員】 150名(定員に達し次第締め切) 先着順

【参加申込締切】 11月11日(木) 当日受付も可

【参加費】 個人・法人会員10,000円、非会員15,000円、学生2,000円

【参加申込方法】 氏名、所属および連絡先(〒、住所、TEL、FAX、E-Mail)、参加資格(会員/非会員/学生)を明記の上、E-mailまたはFAXにてお申し込み下さい。

【申 込 先】 〒102-0074 東京都千代田区九段南4-8-30アルス市ヶ谷202 電気化学会関東支部
(TEL 03-3234-4213, FAX 03-3234-3599, E-mail: kayama@electrochem.jp)

【振 込 先】 りそな銀行市ヶ谷支店・普通預金口座(名義: 関東支部支部長青柿良一、口座番号: 1601943)

主 催 電気化学会関東支部

協 賛 日本化学会、電気化学会電池技術委員会、電気化学会熔融塩委員会、イオン液体研究会

